



〒892-0841
鹿児島市照国町13-42
カトリック鹿児島教区
電話099（226）5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間〒共1100円

道 標



Yet... Joy! Hope! Gratitude!

霧島 杉神学生助祭に！

5月1日留学先のローマで叙階

ローマに留学中の教区神学生・霧島杉さんが5月1日現地で、助祭に叙階された。教区報では霧島さんからの報告で叙階式の様子とその心境を紹介し、共に喜びを分かち合いたい。

皆様のお祈りに支えられ、ローマで司祭職への養成を5年間受けてまいりましたが、この度、勤労者聖ヨセフの記念日にあたる5月1日（火）に、ローマ市内の聖アポリナレ大聖堂（わたしが在学中の聖十字架大学の付属の教会堂）にて助祭に叙階されましたので、この場をお借りしまして皆様に報告いたします。

わたしの在籍する国際神学院「セデス・サピエンチ



叙階式での霧島神学生

エセデス・サピエンチエ（Sedes Sapientiae）では毎年5月1日が学年末（ローマでは6月が学年末です）の助祭叙階式にあてられており、今年は例年より多い7人の神学生が助祭の聖位を受けました。

受階者の内訳は、わたしのほかに、タンザニアの神学生が2人、フィリピン、インド、中国、南アフリカの神学生がそれぞれ1人ずつです。主司式は教皇庁の教育省長官ジュゼッペ・ヴェルサルディ枢機卿で、共同司式にはタンザニア人受階者のうちの1人の出身教区であるタボラ大司教区の教区長をはじめ、神学校の院長、養成者、霊的指導者、その他ローマやイタリア各地からの招待者をあわせて40人ほどが加わり、広い内陣もいっぱいになりました。神学校に加えて、神学生、関係者、受階者の各系者、大学の友知地からの友人、知

きぼうの電話第31回カウンセリング講座日程

回	月	日	曜	講 師	内 容
※	6	16	土	事務局	説明会 14時と19時（2回）
第1回	6	22	金	竹山 昭神父	共に歩むためにⅠ
第2回	6	29	金	大坪治彦先生	カウンセリングの基礎知識Ⅰ
第3回	7	6	金	大坪治彦先生	カウンセリングの基礎知識Ⅱ
第4回	7	13	金	有倉巳幸先生	職場の人間関係
第5回	7	20	金	有倉巳幸先生	人間関係の中のストレス
第6回	7	30	月	森口 進先生	アルコール依存症-その関わりⅠ公開講座
第7回	8	6	月	森口 進先生	アルコール依存症-その関わりⅡ公開講座
第8回	8	24	金	事務局	懇親会
第9回	9	7	金	今林俊一先生	家族の人間関係
第10回	9	14	金	今林俊一先生	青少年の心理Ⅰ
第11回	9	21	金	今林俊一先生	青少年の心理Ⅱ
第12回	9	28	金	郡山健次郎司教	それでも「きぼうの電話」
第13回	10	5	金	大坪治彦先生	よい聴き手となるためにⅠ
第14回	10	12	金	大坪治彦先生	よい聴き手となるためにⅡ
第15回	10	19	金	大坪治彦先生	よい聴き手となるためにⅢ
第16回	10	26	金	大坪治彦先生	よい聴き手となるためにⅣ
第17回	11	9	金	事務局	電話カウンセリングの実際①
第18回	11	16	金	竹山 昭神父	共に歩むためにⅡ
第19回	11	30	金	竹山 昭神父	共に歩むためにⅢ 修了式・認定式
第20回	12	7	金	事務局	電話カウンセリングの実際② 懇親会
※	12	14	金	事務局（研修）	新人オリエンテーション①
※	12	17	月	事務局（研修）	新人オリエンテーション②
※	12	18	火	事務局（研修）	新人オリエンテーション③



コンベンツアル会
谷村達郎神父帰天

コンベンツアル聖フランシスコ修道会のアルナルド谷村達郎神父が、4月30日

と聖体拝領後の歌はそれぞれスワヒリ語と中国語で歌われ、荘厳かつ国際色豊かな式となりました。午前10時半に始まった叙階式ミサはおよそ2時間で終了しました。その後は大聖堂横の回廊スペースで軽食および参列者との歓談のひと時をはさんで、新助祭とその親族、招待客、他の神学生は神学校へ移動して昼食をとり、そして神学校内でのフェスタと続き、午後5時頃にはすべての催しが終了しました。

また翌日には、オプス・デイの属人区長教会である平和の聖マリア教会において、わたしの養成担当者である司祭の司式するミサで初めての助祭奉仕をし、母と妹に向けて日本語で説教

する機会に恵まれました。助祭に叙階された今、心からの喜びと、わたしの家族、司教様、鹿児島教区のすべての信者の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。説教の中でヴェルサルディ枢機卿が受階者にむけて述べた「召命を与えてくださった神の愛にとどまり、その愛を他の人々に伝えていけるように」という言葉を心にとめ、司祭叙階へ向けて励んでいきたいと思っています。引き続きわたしを含め鹿児島教区のすべての神学生のために祈りください。

6月から開講

カウンセリング講座
鹿児島きぼうの電話

昨年12月、開局30周年を記念した鹿児島きぼうの電話（山口寛子委員長）では、6月22日から31回目となる「カウンセリング講座」を開講する。

同講座は教区が主催する電話ボランティア業務で苦しむ悩む人の声に耳を傾ける相談員を養成するために始められたが、「職場や家庭での豊かな人間関係を築く術を教える」という講座の内容から相談員養成のためだけにでなく、人間関係を円滑に保ちたいと願う人が一人でも多く受講しやすいようにと名前を「カウンセリング講座」に変更して続けられている。

鹿児島大学や鹿児島国際大学教授、アルコール依存症治療の専門家に加えて、郡山健次郎司教、竹山昭神父も講師陣に名を連ね、傾聴や健全なコミュニケーションを保つための学習を行う。講座は概ね金曜日に開講（19時から21時）。詳しくは「きぼうの電話第31回カウンセリング講座日程」参照。

同講座の受講資格は20歳

（月）午後8時24分、諫早市の「聖フランシスコ園」で老衰のため帰天した。76歳だった。
1941年11月22日、滋賀県大津市に生まれた谷村神父は、1959年に受洗。その4年後にコンベンツアル会に入会し、1965年4月に初誓願、司祭に叙階されたのは1973年11月3日（東京カテドラル・関口教会）だった。叙階後は関町修学院、仁

川修道院などで働いた後、1994年から奄美大島は古仁屋教会、古田町教会で宣教司牧に奔走した。2002年に奄美から異動になり春日井修道院、イタリア、聖母の騎士修道院、瀬戸修道院に所属、その後2017年4月から聖フランシスコ園に入所していた。谷村神父の葬儀は5月4日（金）カトリック本河内教会でしめやかに執り行われた。

以上。受講料は全20講座で1万円（学生は5千円）。講座に関する説明会は6月16日（土）14時と19時の2回、教区本部である。またアルコール依存症について学ぶ公開講座（7月30日、8月6日）は無料で開講され誰でも受講できる。問い合わせは、山口寛子委員長（☎090-1162-7372）まで。

典礼についてお知らせ

▼「聖書（新共同訳）」の「御子」の読み替えについて
「御子（みこ）」の「おんこ」への読み替えが、今年の聖霊降臨の主日の翌日（5月21日）から実施されることになった。つまり、カトリック中央協議会発行の「主日の朗読聖書」や「毎日のミサ」などの「御子」は、今後、「おんこ」と読むことになる。

▼「教会の母聖マリア」の記念日について
典礼秘跡省が、聖霊降臨の主日後の月曜日を聖マリアに関する新しい義務の記念日として「教会の母聖マリア」として祝うことを定めた。今年は、5月21日（月）に祝われた。

教区のために働く聖職者 2018



溝辺教会
朴 昶奎神父



阿久根教会
坂本 進神父



出水教会
萩原義幸神父



大口教会
アッシャー神父



入来教会
ハンマ神父



川内教会
メニッヒ神父



教区長
郡山健次郎司教



始良教会
アン神父



国分教会
サンタマリア神父



鹿屋教会
スティーブ神父



垂水教会
丸野六雄神父



志布志教会
寝占敦之神父



吉野教会
鄭 法鍾神父



玉里教会
小隈憲士神父



ザビエル教会
竹山 昭神父



ザビエル教会
鄭 成淙神父



紫原教会
山口好信神父



鴨池教会
泉 浩二神父



谷山教会
頭島 光神父



谷山教会
ムイベルガ神父



谷山教会
ボスコ神父



指宿教会
ディーノ神父



加世田教会
朴 鎮亮神父



種子島教会
枡尾泰英神父



大笠利教会
内野洋平神父



瀬留教会
宋 診旭神父



大熊教会
タム神父



聖心教会
ティエン神父



聖心教会
李 秉徳神父



古田町教会
松永正男神父



古田町教会
柳本繁春神父



古田町教会
金 熙一神父



古田町教会
田端孝之神父



小宿教会
鈴木康由神父



古仁屋教会
松永正男神父



古仁屋教会
金 熙一神父



母間・和泊教会
福崎英雄神父



母間・和泊教会
大松正弘神父



教区本部
末吉卓也神父



司教館
永山幸弘神父



純心聖母会
関根悦雄神父



YBU本部
小川靖忠神父



神学院
中野裕明神父



引退
田原 章神父



引退
成相明人神父



留学
貴島丈弥神父



桃藺淳一郎助祭



久保俊弘助祭



四條淳也助祭



川口 茂助祭



石神秀人助祭



池上聖行助祭



池上利男助祭

役職・担当等を発表

2018年司祭たちの受け持ち

エキュメニカル委員会に頭島光神父、看護協会顧問に小隈憲士神父が就任するなど2018年度の役職、担当、顧問等が次のように発表された。

■地区長 頭島光神父（レデンプトル会地区）、松永正男神父（奄美大島地区）

■司祭評議会 郡山健次郎司教（会長）、泉浩二神父（副会長）、末吉卓也神父（事務局長）、頭島光神父、大松正弘神父、小隈憲士神父、寝占敦之神父、ファン・ミン・アン神父、サンタマリア・ジュゼッペ神父、内野洋平神父（以上、評議員）

■教区顧問 頭島光神父、泉浩二神父、竹山昭神父、小隈憲士神父

■責任役員 代表役員Ⅱ教区長、責任役員Ⅱ竹山昭神父、永山幸弘神父、小隈憲士神父、泉浩二神父

■経済問題評議会 会長Ⅱ教区長、副会長Ⅱ総代理、小隈憲士神父、頭島光神父（以上、教区顧問）、奄美地区長、川口茂（助祭）、益満喜久雄、森山茂知、中野三郎

■教区裁判所 法務代理ⅡJ・ハンマ神父、裁判官Ⅱ永山幸弘神父、絆の保護官Ⅱ竹山昭神父、公証官Ⅱ末吉卓也神父

■検閲官 竹山昭神父

■本部事務局

(1)宗教法人部（会計部）部長Ⅱ泉浩二神父、山下眞二、（広報部）部長Ⅱ泉浩二神父、山下眞二

(2)学校法人部（聖マリア学園）森章子

①教区典礼委員会 末吉卓

- ⑤ 医師会 J・ムイベルガ神父
- ⑥ 教師の会 竹山昭神父（大学）、山口好信神父（小中高）
- ⑦ 修道女連盟 竹山昭神父（鹿児島地区）、松永正男神父（奄美大島地区）
- ⑧ 奄美カトリック女性連盟
- ⑨ 松永正男神父
- ⑩ オリーブの会 丸野六雄神父
- ⑪ 愛の泉 久保俊弘助祭、朴鎮亮神父
- ⑫ 社会福祉法人「善き牧者会」 頭島光神父

+KABAYAN SEKSYON+

Pagpapanibago ng Buhay Relihiyoso

Makikita sa kaisipan ng atas ng ikalawang Konsehong Batikano ukol sa buhay relihiyoso (pinamagatang *Perfectae Caritatis*) ang pagpapanibago ng Simbahan alinsunod sa mga pananaw ng Ebanghelyo. Maraming tinatalakay ang kasulatang ito, kabilang ang teolohiya ng mga panata (pagdaralita, kalinisang puri, at pagtalima), ang papel ng mga kontemplatibo, ang larangan ng apostolado, at ang espiritwalidad ng aktibong pamumuhay.

Nakita ng Konseho na paninibaguin ang lahat ng pangkat-relihiyoso ayon sa diwa ng mga tagapagtatag ng mga pangkat na ito at pagbagay sa mga bagong kalagayan ng mundo at pangangailangan ng Simbahan.

Isang natatanging bokasyon sa Simbahan ang buhay relihiyoso: dapat itong pahalagahan at palaganapin. Ang tatlong pangunahing panata na inaangkin ng lahat ng relihiyoso ay nangangahulugang nais ng mga relihiyosong ito na mamuhay nang payak, sanayin ang sarili sa kadalisan at pagtatangi ng puso, at kusang tanggapin ang anumang nakatalaga sa kanila. Sinasalamang paghahandog na ito ang taugpusong pagtibig sa Diyos at buongpuso na paglilingkod sa kapwa.

Nagpapasalamat tayong mga kasapi ng Simbahan para sa iba't ibang sektor, uri, at paraan na paglilingkod (hal. Pagamutan, bahay-ampunan, estasyon ng radio, pahagayan, paglilingkod sa bilanguan, atbp.) na ginagampanan ng mga relihiyoso't relihiyosa sa Simbahan at sa lipunan.

Sa ganitong paglilingkod, makikita natin na ang Diyos ay buhay sa mga kapatid sa pananampalataya na naglilingkod. At iyong din mga pinaglilingkodan ay makikita rin ang larawan ng Poong Panginoon Jesus na nagbabalak kayong mahirap, may sakit, walang tirahan at iba pa. Kaya sa ganitong pamumuhay lahat ay nagiging kabahagi ng buhay ng Diyos na nagbibigay buhay at hininga sa atin. Kaya ating bigyan ng kahalagahan ang mga sa buhay relihiyoso.

Katesis para sa Taon ng mga Pari at Relihiyoso(Fr.Dino)

司教執務室便り



スマホで宣教

携帯電話といえはスマホ、というほどに日本人の7割余りが所持しているという。そんなスマホをお使いの人ならラインをご存知かと思う。「今さら」と言われそうだが、先月、タイの友人司祭2人が来日したことで、図らずもライン愛好者になった。メールはもちろん、写真に動画、長い文章でも難なく送ることができることに驚いた。しかも、海外へも無料となれば高額な通信料が発生することもないので安心。2人は風景や料理など、初めて目にするものをなんでもパチパチ撮っては家族や友人に送信していた。そのうちの1人ロー神父さんの70歳になるという母上も彼の手ほどきでライン愛好者になり、送られてくる日本の様子に「まるで日本にいるみたいだ」と喜ばれたという。

つい最近、「MEAアジア会議日本開催支援2018」への参加を促すメールがラインで届いた。「同意のボタンを押すように」とのことだった。慣れない手つきながら参加することができた。すると、「鹿児島教区・郡山司教様ご参加です!」と返ってきた。しかも、Welcomeに続いてクラッカーにはじけたクスタマなど7種類の喜びを表現するカラフルなカザリ付き。なんとも華やかな慶祝ムードに楽しくなった。

ひと頃、フェイスブックも愛用したもののだが、「知り合いかも」など押し付けがましさにウンザリしてほとんど手をつけないでいた。そんな中でのラインとの出会いは新鮮だった。しかも、上記のようなものだけでなく、喜怒哀楽を表わす人の表情やカラフルな文字による少し大げさな描写もあって、思わずクスツと失笑してしまうこともある。ライン用語ではスタンプというらしいが、こうしたいわゆる絵文字は人の気持ちを和ませる効果がある。どれにしようか迷いながら選ぶのもまた楽しい。

ネット宣教を標榜する身としては大いに活用してほしいと思う。遠くにいる子や孫たちに「今度の日曜日ミサに行ったら嬉しいのだから」と呼びかけてみる。いい返事が来たら喜びを爆発させて沢山のカザリが一杯ついた返事を出す。スマホ宣教をぜひ勧めたい。

会と催し 6月

1日（金）	大隅学園理事会・教区本部・10時
2日（土）	松森孝郎神父命日（2017年）
3日（日）	キリストの聖体
7日（木）	教区修道女連盟総会・教区本部・9時30分
8日（金）	聖体礼拝
10日（日）	イエスのみ心
11日（月）	奄美カトリック女性連盟第40回総会・古田町教会・11時
13日（水）	3教区司祭合同黙想会・霧島市・15時
14日（木）	フリチエル神父命日（2016年）
16日（土）	泉浩二神父、鄭法鍾霊名（聖アントニオ）
17日（日）	ザビエル上陸記念祭実行委員会・教区本部・19時
18日（月）	正義と平和協議会・教区本部・13時
19日（火）	年間の第11主日
24日（日）	奄美の宣教司牧を考える会
28日（木）	カスグレ神父命日（1979年）
29日（金）	教区巡礼委員会・教区本部・19時
29日（金）	洗礼者聖ヨハネの誕生
29日（金）	小川靖忠神父霊名
29日（金）	聖ペトロ使徒座への献金
29日（金）	オリーブの会・教区本部・14時
29日（金）	司祭評議会・教区本部・14時
29日（金）	教区司祭会・教区本部・16時
29日（金）	聖ペトロ 聖パウロ使徒
29日（金）	聖ペトロ霊名 永山幸弘神父
29日（金）	聖パウロ霊名 郡山健次郎司教、坂本進神父、小隈憲士神父、アン神父、貴島丈弥神父
29日（金）	コンベンツス・教区本部・10時
29日（金）	ムイベルガ神父叙階記念（1969年）

祈りの意向

「祈祷の使徒会」

世界共通 ソーシャルネットワーク
日本の教会 家庭の平和

ミサを中心に開催 ザビエル上陸記念祭

今年はミサを中心に、内容を工夫して祝う。

日時 8月11日（土）午前9時～10時30分

場所 ザビエル教会

・信仰宣言は歌う。

・共同祈願 鹿児島、レデンプトル地区、大隅、奄美の各地区から意向を出す。

・侍者 子どもは侍者服を着て、行列する。

・聖歌 指揮はシスター鶴巻（純心聖母会）で、ザビエル聖歌隊がリード。

・駐車場は、鹿児島市外の小教区が使用。市内の小教区は、有料駐車場か公共交通機関を利用する。

洗礼の喜び、秘跡の恵み

吉野教会 長井 ハスミ

去る3月31日、復活前夜祭の夜、夫は帰らぬ人となりました。

今年の12月の初め頃、思いもかけていなかったことでしたが、夫が患っていた前立腺癌が悪化、余儀なく入院を繰り返す日々が4か月続きました。

私としては、なす術なく十字架のイエス様にしがみつき、ロザリオと慈しみのチャプレットによりすがり、ただただ回復の奇跡を祈るばかりでした。

未信者の夫に伝わるのか、伝わらないのか、訳も分からず、聖書の詩編やイザヤ53章を読み、癌患者の保護の聖人という聖ペレグリンに取り次ぎを願う「助けて」と叫ぶ日々の中、教会の皆様の祈りは大きな支えでした。ミサをあげて頂いたり、食べ物や野菜を差し

し入れて頂いたり…。助け手に励まされ、支えて頂いた日々でもありました。

そんなこんなで退院して自宅に帰っていた12日間に出来事は起きました。

主任司祭がふと見舞いに自宅を訪れてくださいました。主任司祭は

「ご主人、洗礼は元氣になつて、教会で少し勉強して、それからゆつくりでいいんですよ」

すると世間話をしていた折に、主人は

「いいですよ。今」

「え、水、水はありませんか」

「父と子と聖霊の三位一体の神を信じますか」

「はい、信じます」

そして「父と子と聖霊のみ名によつてあなたに洗礼を授けます」

「あなたの罪は赦されました」

「洗礼名は？」

「お世話になった聖ペレグリン」

「ご聖体と油は明日。また来ます」

ホッとした瞬間でした。今までの夫なら「信じません」と答えるのが普通でしたから、夢が叶った瞬間でした。

受洗後の夫の口から出る一つひとつの言葉は、私を勇気付け、喜びに満ちたものでした。

「あなたと僕は結婚したね。届け出なくていいのか？」

「大丈夫、神父様がちゃんと教会で届け出してくれま

す」結婚の秘跡にやつとあずかれます。残された悲しい未亡人を生きるのではな



く、霊的結婚で結ばれた新しい歩みが始まるのです。「ああ、私はこれで生きていける」

天が開いた瞬間でもありました。神のみ業は時にかなって美しい。

「神様が聖書を読みなさい

として渡してくれた。返そうとしたら消えたよ」

「返さないでよかったのよ」

「今までの人生がすべて書き換えられたようだ」

「そうよ。あなたは洗礼を受けてまったく新しい人になったのよ」

「聖なる油をいっぱい塗ってもらいなさい」

それから神父様には3度も新しい油をたつぷりと塗

って頂きました。死は終わりでなくまさに始まり。

み言葉通りでした。主の栄光、主の勝利。感謝と賛美を永久におさげいたします。ささやかな個人的体験を分かち合っていただき、感謝いたします。

康由神父の聖書教室(2)

わたしは「ある」

湖上を歩くイエスから



「わたしはある」という言葉は聖書の中で有名な言葉です（出エジプト3・14、ヨハネ8・24、28、58、13・19）。実は「湖の上を歩く」場面ではイエス様が弟子たちに「わたしだ。恐れることはない」という言葉の「わたしだ」も、原語では同じく「わたしはある」と表現されています（マタイ14・27、マルコ6・50、ヨハネ6・20）。この言葉と旧約聖書に基づき、この箇所を読み解いていきたいと思います。

さて、旧約聖書に於ける神の顕現の場面を思い出せば、煙、火、そして地震といったさまざまな自然現象や深い眠りといった非日常的な状態が伴います（出エジプト19・16、18、創世記2・21、15・12）。この他、目の前を通り過ぎるということもあります（創世記18・1、5、出エジプト33・20、23）。また、神様を見て水がわかない、という記述や、主なる神様が暴風とともに進む、という言葉もあります（詩篇77・17、ゼカリヤ9・14）。こうしたことを踏まえると、イエス様が逆風の中で荒れた湖の上を歩くということ、まさにイエス様が神として地上に現れた、ということ表現していると考えられます（マタイ14・25、ヨハネ6・19）。特に、マルコに於いては湖上で舟に乗っている弟子たちの「そばをとり過ぎよう」とされた」という言葉が既述した出エジプト記を彷彿させてくれます（出エジプト33・

22）。出エジプト記で神様は自分の姿を隠すために手でモーセを覆いますが（同上）、福音書ではイエス様の姿は弟子たちから見えています。旧約では神様を見たものは死ぬと言われています（創世記32・31、出エジプト記3・6、19・21）、福音書ではイエス様を見ても死ぬことはありません。そればかりか、舟に乗り込み弟子たちと共にのられるのです。

このように考えると「湖の上を歩く」という箇所は、イエス様が湖の上を歩いたという奇跡的なことが問題となつているわけではなく、神様が見えるかたちで私たちのところに来てくださった、ということが描かれていたことがわかります。時として私たちの歩みには、逆風や強い風に苛まれることがあります。私たち何かに翻弄される、戸惑っているときにこそ、イエス様は私たちの方へと近づいて来てくださるのです。

楽しかった！奄美の合同復活祭

古田町教会 高校1年 栗栖 宏 行

まずこんな大勢でおめでたい復活のミサができたことを嬉しく思います。また天気が良く、すがすがしい風もイエス様の復活を祝っているように感じました。

司教様の説教も面白かったです。パン種の話や練習、大谷選手の話など楽しく感じました。今回は高校生の侍者がおらず侍者のリーダーを務めさせてもらいましたが、力が及ばず少しグダグダになりました。でも皆、精一杯頑張ってくれてよかったです。また次の機会があれば頑張りたいと思います。



頑張りました！侍者たち

KJP（鹿児島正義と平和協議会）通信 6月号

正義と平和協議会の活動に対して、「左翼的な政治活動である」「組合活動と同じような活動である」という声を聞くことがある。「原発に反対する」「憲法9条を守る」という主張を聞いて、前記のような捉え方をしているのかもしれない。現代のカトリック教会がなぜ社会問題にかかわっているのか、について考えてみたい。（日本カトリック司教協議会 社会司教委員会編『なぜ教会は社会問題にかかわるのかQ&A』

参照）社会の不正や矛盾に対して、怒りを感じ、それを正そうとすることは、市民の一般的感情として当然なことである。日々の生活のために働き、家族を養い、住みやすい社会を造るのが人間の営みであり、人権を侵害したり、人間らしい生き方を阻害するものに対しては、相手が国家であれ、抵抗することは人間として当然の権利である。特に貧しい人、弱い立場にある人の側に立つキリスト者には抑

圧・差別を産み出している社会の不正に声をあげ、行動する役割がある。「信者に求められる事は祈りであり、政治行動ではない」という意見もある。目の前に飢えた人、傷ついた人、差別を受けている人がいれば、我々はどうするだろうか。そうした人々が自由で平等な人間として生活できるような方法を考えて、私たちは行動するはずだ。イエスの教えも、言葉だけで主を求めることより、父なる神のみ旨を実行することが大事だということである。（マタイ7・21）最後の審判の基準も、日々の生活において、どのような行動をしていたかで

ある。（マタイ25・31）46）決して祈りが要らないというのではない。祈りを軽視しているわけでもない。祈れば祈るだけ行動するようにするのであり、行動すればするだけ祈りを求めるようになるのだと思う。残念ながら私自身は、中途半端なために祈りも行動も不十分であるのだが。「社会問題へのかかわりは、キリスト教の『救い』とは関係がない」という受け取り方もある。救いをどのようにに捉えるかという問題になる。私にとつての救いとは、自分ひとりだけが、未来において救済されるということではない。自分だけではなくすべての人

が神の子として大切にされることであり、今この世において神の支配をわずかも実現させるといふことである。私たちの生と死は現実の生活とつながっており、それぞれの生活が社会の政治経済構造に規定されている以上、社会問題に関わることは至極当然であると思う。（紫原教会 山下和実）

お知らせ

▼社会問題の分かち合い（毎月第3土曜日）

日時…6月16日（土曜日）13時～15時

場所…教区本部

内容…原発・改憲についての情報交換、その他